

▼数字で見る埼玉大学の女性教員

本学では、平成29年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」の採択を受け、平成29年度から様々な女性研究者支援及び子育て介護中の教職員支援を実施しています。そこで、今回、埼玉大学、内閣府男女共同参画局及び一般社団法人国立大学協会が定める成果指標における、埼玉大学の女性教職員及び女子学生の現状をまとめました。

1. 埼玉大学の女性教職員の状況

(1) 女性教員比率の推移

2007年以降の女性教員比率の推移は<図1>のとおりとなります。2018年5月1日現在の埼玉大学の教員数は、全体で454名であり、そのうち女性教員は全体の17.8%、数にして81名となっており、女性教員比率は国立大学平均と同様に上昇傾向にあり、この12年間で3.5%増加しています。

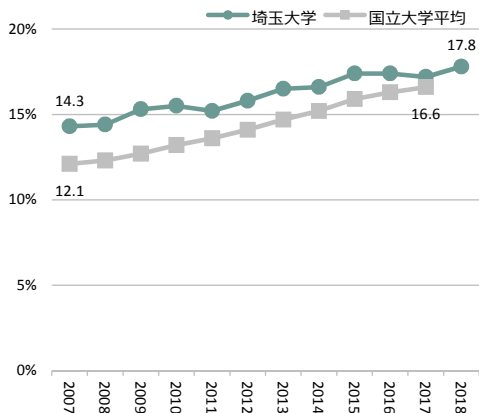
また、職階別女性教員比率は、准教授が上昇傾向の特徴が見られます<図3>。

目標値

内閣府 第4次男女共同参画基本計画
(2015年12月閣議決定)

大学の教員に占める女性の割合は、2020年までに、教授等は20%、准教授は30%を目指す。(早期に、教授等は17%、准教授は25%を目指すこととする)

※ 教授等は、学長、副学長及び教授を指す。



<図1> 埼玉大学の女性教員比率

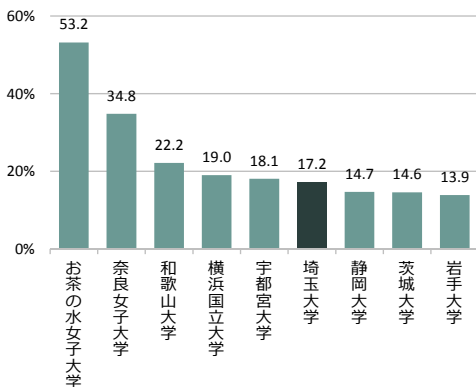
※ 出典：学校基本調査，文部科学省

現在

埼玉大学の女性教員比率_2018年度

- 教授等 : **11.8%** (▲ 8.2%)
- 准教授 : **25.3%** (▲ 4.7%)

※ () 内は現在値と目標値の差を指す。



<図2> Hグループの女性教員比率 (2017年5月1日現在)

※ 出典：大学基本情報，大学改革支援・学位授与機構
※ Hグループ：文部科学省「国立大学法人の財務上の分類」のA～Hのうち、医科学系学部を有さない中規模大学

<図3> 埼玉大学の職階別女性教員比率

※ 出典：学校基本調査，文部科学省

(2) 教職員の採用状況

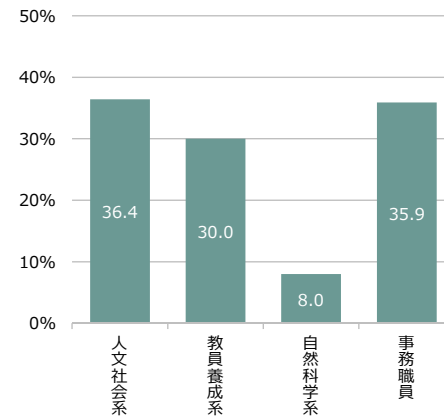
2016～2018年度の女性教職員の採用比率は<図4>のとおりとなります。埼玉大学の第3期中期計画・中期目標及び行動計画の目標値には、現時点において教員養成系部局以外では達成されていません。

目標値

埼玉大学 第3期中期計画・中期目標 (2016～2021年度)
埼玉大学 行動計画
(女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画)

女性教員の採用比率を人文社会系部局においては40%、教員養成系部局においては30%、自然科学系部局においては20%以上に、また、女性事務職員の採用比率を50%とする。

※ 人文社会系は人文社会科学研究科・教育機構・研究機構(文系)・国際本部、教員養成系は教育学部、自然科学系は理工学研究科・研究機構(理系)・情報メディア基盤センターを指す。



<図4> 埼玉大学の女性採用比率 (2016～2018年度)

※ 出典：女性活躍推進法による一般事業主行動期間における男女別採用数，人事課
※ 2018年4月1日現在である。

現在

埼玉大学の女性採用比率_2016～2018年度

- 人文社会系部局 : **36.4%** (▲ 3.6%)
- 教員養成系部局 : **30.0%** (-)
- 自然科学系部局 : **8.0%** (▲ 12.0%)
- 事務職員 : **35.9%** (▲ 14.1%)

※ () 内は、現在値と目標値の差を指す。

(3) 役員等への登用状況

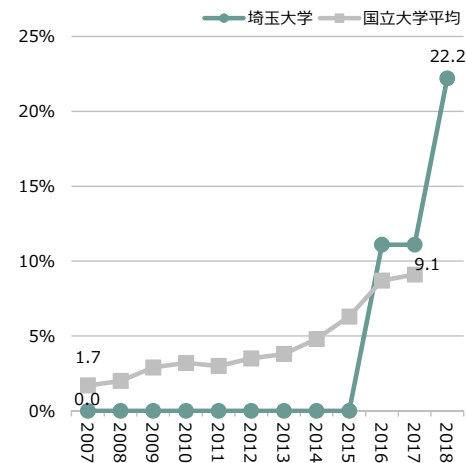
2007年以降の女性の役員等への登用状況は<図5>のとおりとなります。2016年に副学長(男女共同参画担当)へ1名、更に2018年に副学長(広報・社会連携担当)へ1名の女性が登用されたことにより、2018年の役員等の女性比率が22.2%となりました。

目標値

一般社団法人国立大学協会 アクションプラン
(2016～2020年度)

国立大学全体の学長、理事、副学長に占める女性の割合については、各大学における目標設定等自主的な取組を促進し、2020年までに**12%以上**の達成を目指す。

※ 内閣府の第4次男女共同参画基本計画では、学長、副学長のみの目標は設定されていない。



<図5> 埼玉大学の役員等の女性比率

※ 出典：国立大学における男女共同参画推進の実施に関する追跡調査報告書，一般社団法人国立大学協会
※ 役員等は、学長、理事(非常勤を含む)、副学長を指す。

現在

埼玉大学の役員等の女性比率_2018年度

- 役員等 : **22.2%** (+ 10.2%)

※ () 内は現在値と目標値の差を指す。

(4) 大学の意思決定機関等の状況

2009年以降の大学の意思決定機関等の女性比率は<図6>のとおりとなります。2014年に経営協議会学外委員へ1名、2016年に教育研究評議会委員と非常勤監事へそれぞれ1名、更に2018年に教育研究評議会委員へ1名の女性が登用されたことにより、2018年の大学の意思決定機関等の女性比率が10.3%となりました。

目標値

一般社団法人国立大学協会 アクションプラン (2016~2020年度)

国立大学全体の大学の意思決定機関等に占める女性の割合については、各大学における目標設定等自主的な取組を促進し、2020年までに10%以上の達成を目指す。

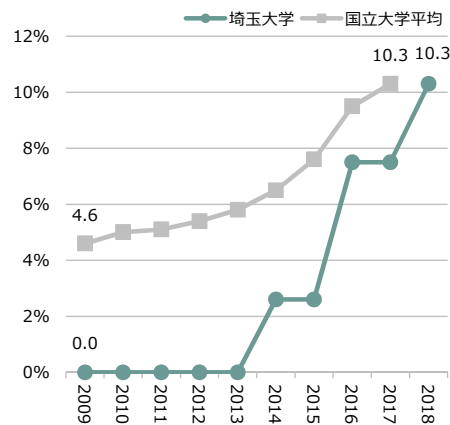
※ 大学の意思決定機関等は、学長補佐等、経営協議会・教育研究評議会委員、部局長等、監事、非常勤理事、大学運営に参画する外部委員等、非常勤監事を指す。

現在

埼玉大学の女性比率_2018年度

○大学の意思決定機関等：**10.3%** (+ 0.3%)

※ () 内は現在値と目標値の差を指す。



<図6> 埼玉大学の意思決定機関等の女性比率

※ 出典：国立大学における男女共同参画推進の実施に関する追跡調査報告書，一般社団法人国立大学協会

(5) 課長相当職以上の女性職員比率の推移

2009年以降の課長相当職以上の女性職員比率は<図7>のとおりとなります。課長相当職以上の職へ2016年に1名、更に2018年に2名の女性職員が登用されたことにより、2018年の課長相当職以上の女性職員比率が11.1%となりました。

目標値

一般社団法人国立大学協会 アクションプラン (2016~2020年度)

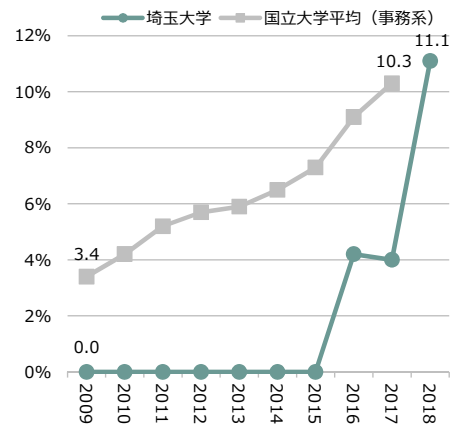
国立大学全体の課長相当職以上に占める女性の割合については、各大学における目標設定等自主的な取組を促進し、2020年までに17%以上の達成を目指す。

現在

埼玉大学の女性職員比率_2018年度

○課長相当職以上：**11.1%** (▲ 5.9%)

※ () 内は現在値と目標値の差を指す。



<図7> 埼玉大学の課長相当職以上の女性職員比率

※ 出典：国立大学における男女共同参画推進の実施に関する追跡調査報告書，一般社団法人国立大学協会

2. 埼玉大学の女子学生 (学部・大学院) の状況

2007年以降の理工系の女子学生の推移は<図8>のとおりとなります。2015年から2018年にかけて女子学生比率は、理学部は3.5%増加し、工学部は0.6%減少しました。

目標値

内閣府 第4次男女共同参画基本計画 (2015年12月閣議決定)

大学 (学部) の理工系の学生に占める女性の割合は、毎年度、前年度以上を目指す。

※ 理工系は、理学部、工学部を指す。

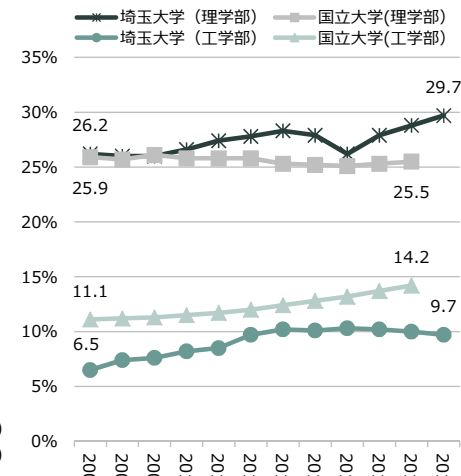
現在

埼玉大学の女子学生比率_2018年度

○理学部：**29.7%** (2015年以降は毎年度、前年度以上)

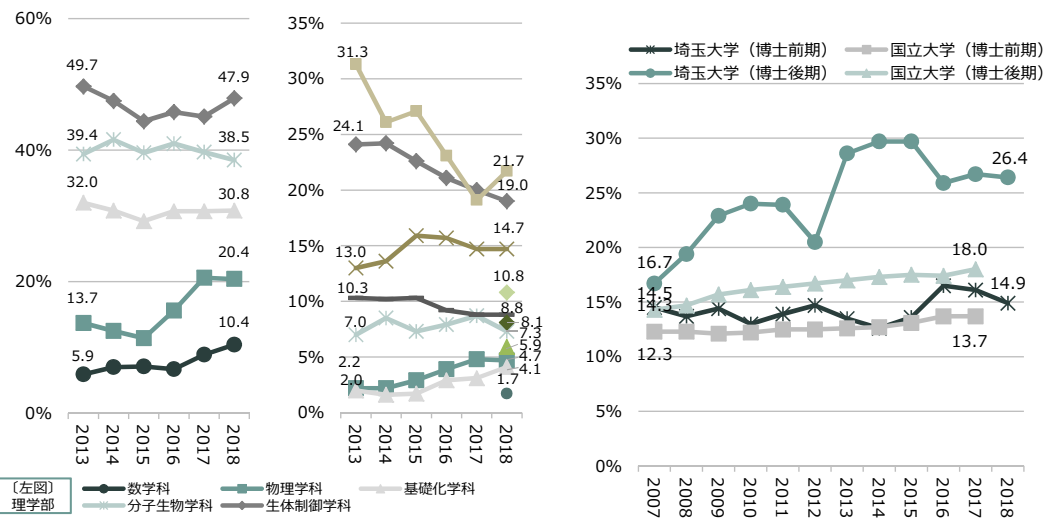
○工学部：**9.7%** (2015年以降は毎年度、前年度未満)

※ () 内は現在値と目標値の差を指す。



<図8> 埼玉大学の理学部・工学部 女子学生比率

※ 出典：学校基本調査，文部科学省



<図9> 埼玉大学の理学部 (左図) ・工学部 (右図) の学科別女子学生比率

※ 出典：学校基本調査，文部科学省
※ 学科の○は、2018年4月改組を指す。